

表 各種土壌における基本的な改善目標

項目	水田		畑地			樹園地		
	褐色森林土、褐色低地土、黄色土、灰色低地土、灰色台地土、グライ台地土、グライ土	黒ボク土、多湿黒ボク土、泥炭土、黒泥土、黒ボクグライ土	褐色森林土、褐色低地土、黄色土、灰色低地土、灰色台地土、泥炭土、暗赤色土、赤色土、グライ土	黒ボク土、多湿黒ボク土	岩屑土、砂丘未熟土	褐色森林土、褐色低地土、黄色土、灰色低地土、灰色台地土、暗赤色土、赤色土	黒ボク土、多湿黒ボク土	岩屑土、砂丘未熟土
作土の厚さ	15cm以上		25cm以上			—		
主要根群域の厚さ	—		—			40cm以上		
根域の厚さ	—		—			60cm以上		
すき床層の緻密度	山中式硬度で14mm以上24mm以下		—			—		
主要根群域の最大緻密度	山中式硬度で24mm以下		山中式硬度で22mm以下			山中式硬度で22mm以下		
主要根群域の粗孔隙量	—		粗孔隙の容量で10%以上			粗孔隙の容量で10%以上		
湛水透水性	日減水深で20mm以上30mm以下程度		—			—		
易有効水分保持能	—		—			30mm/60cm以上		
pH	6.0以上6.5以下(石灰質土壌では6.0以上8.0以下)		6.0以上6.5以下(石灰質土壌では6.0以上8.0以下)			5.5以上6.5以下(茶園では4.0以上5.5以下)		
陽イオン交換容量(CEC)	乾土100gあたり12meq以上(ただし、中粗粒質土では8meq)	乾土100gあたり15meq以上	乾土100gあたり12meq以上(ただし、中粗粒質土では8meq)	乾土100gあたり15meq以上	乾土100gあたり10meq以上	乾土100gあたり12meq以上(ただし、中粗粒質土では8meq)	乾土100gあたり15meq以上	乾土100gあたり10meq以上
塩基飽和度	カルシウム(石灰)、マグネシウム(苦土)及びカリウム(カリ)イオンが陽イオン交換	同左イオンが陽イオン交換容量の60~90%を飽和すること	同左イオンが陽イオン交換容量の70~90%を飽和すること	同左イオンが陽イオン交換容量の60~90%を飽和すること	同左イオンが陽イオン交換容量の70~90%を飽和すること	同左イオンが陽イオン交換容量の50~80%(茶園では25~50%)を飽和すること		
塩基組成	カルシウム、マグネシウム及びカリウム含有量の当量比が(65~75):(20~25):(2~10)であること		カルシウム、マグネシウム及びカリウム含有量の当量比が(65~75):(20~25):(2~10)であること			カルシウム、マグネシウム及びカリウム含有量の当量比が(65~75):(20~25):(2~10)であること		
有効態リン酸含有量	乾土100gあたり P ₂ O ₅ として10mg以上		乾土100gあたり P ₂ O ₅ として10mg以上75mg以下	乾土100gあたり P ₂ O ₅ として10mg以上100mg以下	乾土100gあたり P ₂ O ₅ として10mg以上75mg以下	乾土100gあたり P ₂ O ₅ として10mg以上30mg以下		
有効態ケイ酸含有量	乾土100gあたり SiO ₂ として15mg以上		—			—		
可給態窒素含有量	乾土100gあたり Nとして8mg以上20mg以下		乾土100gあたり Nとして5mg以上			—		
土壌有機物含有量	乾土100gあたり2g以上	—	乾土100gあたり3g以上	—	乾土100gあたり2g以上	乾土100gあたり2g以上	—	乾土100gあたり1g以上
遊離酸化鉄含有量	乾土100gあたり Nとして0.8g以上		—			—		
電気伝導度	—		0.3mS(ミリジーメンズ)以下		0.1mS以下	—		